

第6回 播磨町長期総合計画審議会

開催日時	令和2年12月21日(月) 午後1時30分～2時15分
開催場所	播磨町役場 3階 BC会議室
出席者	<p>【長期総合計画審議会委員】</p> <p>田端 和彦(兵庫大学・兵庫大学短期大学部 副学長) 正木 隆資(播磨町商工会 副会長) 佐伯 亮太(播磨町まちづくりアドバイザー) 高木 利浩(播磨町連合PTA協議会 会長) 草部 芳彦(播磨町社会福祉協議会 副会長) 尼木 智美(NPO法人スポーツクラブ21 はりま 理事) 藤本 徳子(播磨町連合婦人会 会長) 津村 道彦(公益社団法人加古郡広域シルバー人材センター 事務局長) 松井 佳子(播磨町人権擁護委員) 森田 孝明(播磨町社会教育委員) 田尻 美恵子(播磨町教育委員会教育委員) 井澤 妙子(住民委員) 正願 智教(住民委員) 井上 晴喜(住民委員)</p> <p>【町】</p> <p>清水 ひろ子(町長) 三村 隆史(副町長) 浅原 俊也(教育長) 岡本 浩一(理事) 喜多 朗(理事) 藤原 秀樹(理事) 長谷川 善一(理事) 武田 健二(理事) 高砂 幸伸(会計管理者) 松本 弘毅(企画グループ統括) 野中 照代(企画グループリーダー) 大友 敬(企画グループ主事) 藤井 滉平(企画グループ主事)</p>
欠席者	田中 達郎(播磨町自治会連合会)
議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) パブリックコメントの結果について (2) 第5次播磨町総合計画(原案)について (3) 答申書(案)について 4. 閉会
資料	資料1 第5次播磨町総合計画(素案)に関する意見募集結果 資料2 第5次播磨町総合計画(原案) 資料3 答申書(案)

1. 開会

- ・事務局より開会あいさつ

2. あいさつ

【町長】

審議会も本日で最後となるが、皆様方のおかげで次期総合計画は概ね完成した。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振う中、播磨町では4月に1人の感染者が判明して以降は確認されていなかったが、最近少しずつ感染者が増加している。イベントや大きな会議等も中止になっているが、地域のコミュニティは事態が収束すれば元に戻るのか、また、できたとしても時間がかかるのではないかと危惧している。皆様方は各地域や各分野で住民との交流にご尽力をいただいているので、今後形を変えてでも人々の繋がりを支えていただきたく、そのような観点から、この会議終了後に意見交換を予定しているため、時間が許す限りご参加をお願いしたい。

【会長】

前回、素案についての意見を多くいただきパブリックコメントを実施したので、今回は町民の意見をどこまで反映させるかという議論になる。計画は作って終わりではなく、どのように活かすかである。皆様方には総合計画を広め、活用していただきたい。

・事務局より資料の確認

最後の審議会のため、町からは事務局に加え庁議メンバー全員が出席している。

3. 議事

【会長】

本日の議事録の署名を、田尻委員と井上委員をお願いしたい。

- (1) パブリックコメントの結果について
(資料1について事務局から説明)

【会長】

パブリックコメントが1件だけというのは残念だが、このような総合計画では出にくく、具体的な計画は出やすい。他の計画や条例等ではどうか。

【事務局】

1、2件が多いが、1人で10件の意見を提出されることもある。最近は減ってきており、0件の場合もある。

- (2) 第5次播磨町総合計画（原案）について

【会長】

先ほどパブリックコメントの反映について申し上げたが、今回のものは本文を大きく変更させるものでも趣旨に反対するものでもない為、事務局からの報告に反対意見もないかと思う。

答申に関して、1つ目のPDCAサイクルについては、しっかりと見直しを行っていただきたく、2つ目の財政については、この審議会では大きく取り上げなかったが、新型コロナウイルスの影響

などを考えると、来年は税収の1割減、今後5～6年も税収は厳しい状況にあると思うので、健全な財政運営をお願いしたいというものであり、3つ目は町域が狭い分、顔見知りも多く協働に理解ある方が多いことを踏まえて強調したものである。ご意見はないか。

【委員】

PDCA サイクルは、1年毎に見直すのか。

【事務局】

1年毎に見直す予定である。

【委員】

36ページの「目標4 保育の充実を図る」は大事だが、幼稚園や小学校の送迎車で住民が非常に困っている。健康いきいきセンターでも駐車場ではなく道路に停車していることがあり大変危険である。新たな施設を作る際は駐車場を整備するなどの内容も実施計画に加えてもらいたい。

【町長】

健康いきいきセンターは指定管理者が対応しているかと思う。幼稚園の送迎は原則徒歩であるが、保育園には運営している法人に善処するよう伝えたい。ただ、町の施設ではないので町の計画には入れづらい。

【会長】

町の大きな枠組みを示すこととなっている総合計画の中では議論できないが、町と民間の協働で対策を講じたいところである。

【町長】

令和5年度に播磨西幼稚園のこども園化を検討しているので、その際は石ヶ池公園の西側に駐車場を増築し、周辺の方々に迷惑がかからない対応をする予定である。

【委員】

災害が起こった場合、小さな町は近隣との連携が必要不可欠だと思う。広域行政でも既に行っていると思うが、より密度の高い協力体制を整えていただきたい。

【会長】

災害に限らず、様々な面で広域行政を活用すべきではないか、というご意見である。答申の中に付帯意見として加えることも一案かと思う。

【町長】

広域行政ではごみ処理の他、さまざまな取り組みを進めている。災害に関しては民間とも協定を結んでおり、兵庫県町村会からは、県内で他町を支援する際には、財政支援が行われることになっているが、本町でも令和3年度に支援をどのように受けるかという受援計画の策定も予定している。

【委員】

ボランティア用の駐車場も活動拠点もないので、空き地の有効活用ができればと思う。

また、名産品も播磨町だけでなく、どこかと一緒に作ったり、サイクリングも近隣市町まで広げる方がより効果的ではないかと思う。

【会長】

広域の方が効果的・効率的である場合はそのようにお願いしたい。

災害時に町単独で対応することは難しいため、県の総合防災拠点で一括して支援を受け、そこから各市町に振り分けられることになる。ボランティアの整理は大きな問題だが、兵庫県は東日本大震災の時に高速道路沿いに拠点を設けて振り分ける方法をとっており、今後もその方法をとられると言われているため、全国から来るボランティアも一旦山陽道等で拠点を設けてから振り分けられるような方法があると思う。

(3) 答申書（案）について

【会長】

答申書は、このような形で12月25日に提出させていただく。

4. 閉会

【副会長】

これまでの審議会では我々では気づかないような多くの意見が挙がり、それらを基に計画を策定できたことは良かったが、一番大事なのはこれをどう活用していくかだと思う。商工会としては住民の協力を得ながら行政に役立つことができればと思っているので、よろしくをお願いします。

【会長】

長い間、ご協力いただきありがとうございました。今思えば、基本政策はウィズコロナを見据えたかのような内容であったが、それに関わらず我々はこのような方向に進むべきだと感じた。

【事務局】

答申は12月25日に審議会を代表して会長から町長へ行われ、2月上旬の臨時会に上程される。

(終了)